

2020連続講座「いま、動き出すために」 2月27日(土)オンライン開催のご案内

今年度はコロナ禍のために、予定通り実施できず、ようやく11月に開始しましたが、東京都の感染者数の急増により、感染状況警戒レベルが最高に引き上げられたことを受け、急遽、オンラインで実施することになりました。
本格的なオンライン事業に向けた試行期間につき、実施にあたり不手際があるかもしれませんが、ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年2月27日(土)13:30~15:30

【形式】オンライン(zoomウェビナー)

【定員】40名(要予約)

参加費
無料

お申込方法

当財団ウェブサイトの
オンライン講座申込フォーム
よりお申込みください。



<https://www.ichikawa-fusae.or.jp/2020renzoku/>

お申し込み後すぐに自動配信で
視聴用 URL が届きます。

注意事項

- 画面に参加者のお名前や顔、声が登場することはありません。パソコンにカメラ、マイク機能がなくてもご覧頂けます。
- パソコンやタブレット/スマートフォン、インターネット回線が必要です。
- Zoomの使用方法・操作方法について、主催者はサポートいたしかねます。
- 参加者のインターネット環境により、通信が不安定になったり、それを起因とした音声・映像などの不具合が発生する可能性があります。予めご了承ください。

2/27(土)

天野恵子さん

(NPO日本性差医療情報ネットワーク理事長)

あなたの100年を輝くものにするために 一性差医療に光を当てて

2018年の簡易生命表によると、日本人男女の平均寿命は、男性81.25歳、女性87.32歳。ちなみに、自立して生活できる年齢を示す「健康寿命」は、2016年時点で、男性72.14歳、女性74.79歳。医学の進歩とともに、感染症(結核、疫痢、赤痢など)による死が克服され、続いてがんに対する医学研究が進み、がんサバイバーの数もうなぎ上りに増えています。最後に医療のターゲットは生活習慣病となりました。今回は、リスクの征圧で認知症が防げるか考えてみます。

プロフィール 1967年東京大学医学部卒業。専門は循環器内科。東京大学保健管理センター講師、千葉県衛生研究所所長、千葉県立東金病院副院長を歴任。性差医療研究、実践の第一人者で、「NPO法人性差医療ネットワーク」や「性差医療・医学研究会」(現・「日本性差医学・医療学会」)の創設をリード。



主催：(公財)市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 TEL: 03-3370-0238 / FAX: 03-5388-4633

E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp / URL: <https://www.ichikawa-fusae.or.jp>